

# コロナ感染死 連日最多更新

## 受け入れ病院見つからず

新型コロナウイルス感染症第8波は、岸田自公政権が医療逼迫の危機的状況を国民に発信せず無為無策のままの年末年始が明け、1日当たり死者数が連日のように過去最多を更新、合計死者数は第7波を超えています。ここに至ってなお危機打開策を打ち出さず人命軽視を続ける岸田政権に国民から怨嗟の声が巻き起こっています。

(内藤真弓子)

「政府は人の命をなんだと思ってるのか」。吐き捨てるように語るのは埼玉

県内の障害者施設職員(52)です。同僚のAさん(63)「女性」がクラスターの起きた施設で働いて感染し、自宅療養中にアパートで死亡しているのが3日、警察からの連絡で分かりました。一人暮らし。死亡推定時刻は元旦です。

Aさんは12月29日、39度の発熱があり抗原検査で陽性でした。心配した職員がAさんに電話すると「喘鳴が聞こえ息苦しい様子でした。Aさんはぜんそくや糖尿病、心疾患の持病がありました。職員が救急車を

要請しようとAさん宅へ向かうとすでに救急車が止まつていました。岡山県で暮らすAさんの娘夫婦が警察を経由して要請したものでした。

同僚は元旦、1人自宅で亡くなつた

救急隊は2時間以上入院先を探します。しかし見つかりません。職員は「自分が自家用車で連れて帰るので外来受診だけでも」と懇願しました。それも受け入れてくれる病院はありませんでした。救急隊員は仕方なく「具合が悪ければまた要請して」と書いおいて去りました。

(13面につづく)

1/33 7:4

# 「コロナ死」で死んでない

## 一面のつづき

昨年12月30日朝、職員は防護服に気密性の高いN95マスクをつけ、Aさんを自家用車に乗せて個人病院の発熱外来に向かいます。PCR検査は陽性でした。基礎疾患があることを訴えても入院はできません。

歳未満である」とを理由に、医療機関によく発生届の対象にならないと告げられます。

政府が9月から届け出の対象を緩和したためです。電子申請による陽性者登録の説明書を渡され自分で登録するよう言われました。

「Aさんはガラケーでスマートフォンもパソコンもないので自分で登録できませんでした。体調が悪い場合は『陽性者相談窓口』に電話するよう案内されていますが、そんなことでいいのか。入院もできない。コロナの発

職員は心の底から怒りをあらまげます。「Aさんはガラケーでスマートフォンもパソコンもないので自分で登録できません。命の軽視も甚だしい。一方で政府は5年で43兆円なんてびっくりするような大軍拡をする。命が守られる政

生届も出せや取り残さ

れ。コロナにかかりていたのに死体検査書の死因は不詳の病死となります。命の軽視も甚だしくしておらず、「コロナ死者にすらなっていません

れる。コロナにかかる職員は心の底から怒りをあらまげます。Aさんはガラケーでスマートフォンもパソコンもないので自分で登録できません。命の軽視も甚だしい。一方で政府は5年で43兆円なんてびっくりするような大軍拡をする。命が守られる政

生届も出せや取り残さ

れる。コロナにかかる職員は心の底から怒りをあらまげます。Aさんはガラケーでスマートフォンもパソコンもないので自分で登録できません。命の軽視も甚だしい。一方で政府は5年で43兆円なんてびっくりするような大軍拡をする。命が守られる政

生届も出せや取り残さ